

# 退職給付会計と401Kの導入

1130496 三島 茉莉

高知工科大学マネジメント学部

## はじめに

近年、企業年金問題が社会で取り上げられている。高齢社会の今、60歳の定年を2013年4月に65歳に引き上げられる。年金制度では、掛金を計算する時の運用利率を高く設定している企業が多く、バブルが崩壊し長期に渡り低金利が続いた事で、退職金の積立不足を抱えるようになった。2001年4月に新会計基準が導入され、退職給付費用および債務が包括的に開示されるようになり、年金の積立不足は表面化し、企業経営・企業評価に大きな影響を与えた。また近年、少子高齢化が進み一方で経済の悪化のため、年功序列や終身雇用などの雇用形態に変化が生じた。そのため、「キャッシュ・バランス・プラン」や「ポイント制」など、各企業はその雇用形態に合った退職金の積み立てを模索する必要が出てきた。またアメリカで導入されている401Kを導入する企業も増えてきた。

この論文では、日本企業が従来の退職金制度から401Kを導入したことによる問題点を整理し、それを解決するための提言を試みる。更に401K導入後の企業経営への影響も考察し、あるべき対応方法を提言する。更に退職金給付を受ける私たち一般国民への影響も検討し、今後私達が現状において、よりよい老後において考えていくべきことについて指摘したい。

## 1, 退職金・年金制度の概要

退職金、年金は下図のような構造になっている。以下、これについて概要を示す。

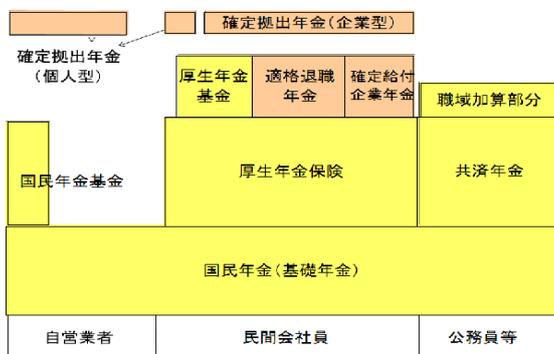


図 日本の年金制度 (DCプランナー教本p17参照)

退職金とは、労働者が企業から退職する際に支給される手当てのこと。退職金は、日本の産業を発展させるために労働者・労働力を長期間確保する目的で普及した。しかし、今の目的は老後の生活に変化している。退職金の積立方式は、「最終給与比率」が主流だっ

た。算定式は、(最終基本給) × (勤めた年数 ÷ 仕事に就いてから定年までの年数) で求める事ができる。しかし、今は年功序列が崩れてきて実力主義に変わりつつあるため、「ポイント制」や「キャッシュ・バランス・プラン」を積立方式とする企業も増えてきた。

また年金とは、老齢・障害・死亡等の事由により失う所得の保障を目的に、一定の要件を満たした者へ定期的に継続して支給する金銭のこと。日本の年金制度は、公的年金と私的年金の2つで成り立っている。日本に住む全ての20歳以上の人が該当する国民年金(基礎年金)に、個人に合った公的年金、私的年金を上乗せする仕組みとなっている。また企業年金では、従来は確定給付年金法で運営していたが、近年では確定拠出年金法で運営する企業が増えてきた。

## 2, 退職金制度の問題点

退職金の問題点を3つ挙げる。

1つ目は、老後の生活保障を個人運営せねばならないこと。終身雇用制、年功序列制などの雇用形態が変わってきていることから、1人1人の自助努力により各自の老後ライフスタイルを設計する

「個人自立型」が変わってきている。よって、自分で自分の企業年金を積み立てて、老後の生活保障を運営しないといけなくなった。

2つ目は、税制上の退職給与引当金しか積み立てておらず、従業員の勤務年数に見合った新会計基準で求められるような退職金積立をしていないこと。会計基準が新会計基準に変わり、退職給与引当金の3分の1を企業に積立てればよかったが、退職給与引当金の全額を退職金の積立とすることで、企業では全額を負債として計上することになった。よって、企業は積立不足で負債を抱えることになり、個人側では退職金が支給されないというリスクが出てきた。

3つ目は、近年の企業年金運用リスクの上昇が指摘されること。日本の企業の年金資産の運用はほぼ有価証券運用のため、株式市場では投資判断が難しくなっていて、更に企業年金の運用も困難でハイリスクになっている。また、退職給与引当金(負債)を全額積立てる事になった。そのため、積立不足が以前より増大し、負債が増えることになった。負債が大きいほど財政状態の悪い企業と評価されるため、株主はその企業の株を売ったりその企業の株を買わなくなるため、株価が下落する。

## 3, 401K制度導入後の問題と解決策案

401K制度とは、確定拠出年金制度のこと。内国歳入法(IRC: Internal Revenue Code) 日本で言えば所得税法+法人税

法) 第401条 (k) 項が由来となっている。日本が401K制度を施行したのは2001年10月。これは、アメリカの401K制度を参考にして作られた。

アメリカの401K制度は、企業年金会計対策や確定給付年金の積立不足を解消するために導入された。401 (k) の資産の6割が企業の株式。企業は、自社株を含んだ株式で退職金を積み立てることで、将来の退職金を確実に積み立てられるようになった。しかし個人では、会社が倒産すると退職金を貰えないことになる。また、原則として自己責任なため、任意に加入できる。経済的に困窮な時や401K制度が廃止された時以外途中引き出しはできないが、資金を引き出したら所得税に加えて10%のペナルティ税を支払わなければならない。

一方、日本の401K制度の対象者は60歳未満の国民年金の第1号被保険者と第2号被保険者。形態区分として「企業型年金」と「個人型年金」がある。転職する時は、転職先の資産管理機関に移管できる。また、401Kを導入する時に、運営を円滑にするために運営管理機関と資産管理機関を決めなければならない。積立金は、預貯金、公社債、株式、投資信託、信託、保険等で運用する。

401K制度を導入しての問題点を2つ挙げる。

1つ目は、日本では今はあまり401K制度が広まっていないため、401K制度を知らない人が多く、個人で401K制度を運営できないということ。この解決策として、企業や地方の商工会などで講習会やセミナーを行い、日本国民に401K制度の知識を養う事が必要である。

2つ目は、企業で401K制度を導入している場合、企業は従業員に必要な情報と知識を与えないということ。この解決策として、企業の社長などが従業員に対して指導をする事が大切と考える。

#### 4, 退職金制度変更への企業および国民の今後の対応

ここまで、年金制度変更と併せてその会計処理の改変についてみてきた。企業は退職給付会計の改訂に対応し、突如表面化した積立不足＝負債から自社の財政状態を好転させるため、401Kをはじめとする様々な対応を採ってきた。ここでは事業者の視点ではなく、従業員・国民の視点に立った場合の企業のとるべき対応の私見を提示したい。

まず、従業員が退職金を積み立てられるように指導することだと考える。退職給付年金法での積み立て不足を減らすために、確定拠出年金法を導入する企業が多い。しかし、従業員が自分に合った退職金を積み立てられていないと、負債は減らないことになる。また、従業員の退職金を確保することも企業の役割の1つだと考えている。よって、企業は従業員に退職金の運営を指導するという対応が必要と考える。企業内で講習会やセミナーを開き、従業員に投資を行う上での知識を身に付けさせ、また一方でリスクについても熟知

させることが必要である。留意点として企業で講習等は実施するが、最終的意思決定やその結果は全て自己責任であると各従業員に理解させることも大切である。

一方、国民の今後の対応は、退職金を自分で積み立てられるような知識を付けること。そして、今後の自分の生活に関わることで、自己責任で前向きに取り組む姿勢が必要と考える。ゼロの知識では誰でも運営はできないので、国民は積極的に知識を身に付ける事が必要である。それが身に付いていなければ、少しの退職金しか受給されず、老後の生活が苦しい生活になるといったことが起こりうることを自覚することが大切である。自己の生活設計において、また社会人として受け身な姿勢ではなく、主体的態度が求められていると言えるであろう。

#### おわりに

退職金制度ということで、今は全く考えていなかった分野だったため、退職金制度・年金制度の概要から調べる必要があった。しかし、調べるにつれて「ポイント制」や「キャッシュ・バランス・プラン」などの新しい積立方式が増えていることが分かった。更に、退職給付年金法が確定拠出年金法の401K制度に移行していることも分かった。そこで、これからの日本企業の退職金制度として主流になるであろう401K制度について知ることが必要と考えた。企業に勤めている人は、今までは個人では運営しなくてよかったので会社に任せていたが、401K制度では自分自身で運営をしなければなりません。理解しないまま運営をしていると、退職金の積み立てが少なかったり、最悪の場合ほとんどもらえないという事もあります。これからの自分の将来をしっかりと計画を立てて、それに見合った退職金をもらうために、401K制度の運営もしっかりしていかないといけないという事が分かった。

#### 参考文献

栗原 健 [2002]

『ズバリわかる！退職金・年金制度設計運営マニュアル』  
経営書院

外井 浩志 [2011] 『退職金制度の変更と判断 Q&A』 労働調査会  
株式会社きんざい [2012]

『DCプランナー教本1 我が国の年金・退職金制度』  
金融財政事情研究会

有限会社監査法人トーマツ [2010]

『退職給付会計～日本基準からIFRSへ』 清文社

吉田和生 [2008] 『退職給付会計情報の分析』 中央経済社

転職用語辞典 [http://ten-navi.com/contents/keyword/t\\_03.php](http://ten-navi.com/contents/keyword/t_03.php)